
機動戦士ガンダム ZEON'S SOLDIER オリジナル設定

式本差し

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

機動戦士ガンダム ZEON・S SOLDIER オリジナル
設定

【Nコード】

N7678H

【作者名】

式本差し

【あらすじ】

ZEON・S SOLDIERの設定です。ネタバレ注意。ご利用は計画的に。

主人公の設定（前書き）

オリジナルキャラクターは主人公だけにする構想で、最初は連載を始めたのですが、オリジナルモビルスーツとか出したいなあ。とか思って、これを書いています。

主人公の設定

ローエン・ガルフ（男）23歳

U・C・0055 1月2日生まれ（山羊座） 血液型A B 髪の毛

色は黒 眼は緑

本作品の主人公 一人称は『自分』 愛称は『ロウ』

性格は基本、冷静である。

いつもその冷静さを保っているつもりだが、戦闘時はあまり保てていない。

仲間を何よりも大事だと思っており、そのことで熱くなることもしばしば。

故に殿軍などには積極的に志願する。

しかし、彼の理念に反して彼の仲間（上官、同僚など）は多くが不幸に見舞われ、彼はいつも生き残っている。

親は学会に認められない心理学者であり、その関係で子供の頃から心理学に手を出し、ハイ・スクール時代にはコミュニケーション、交渉事、ギャンブル、果ては恐喝にまで精通していた。（実際に実行したこともあった。）

実は士官学校に通っていたことがある。しかし戦術論の授業において、彼の発表した戦術は奇想天外なものであり、誰一人、教官すらも理解できなかったので落ちこぼれの烙印を押される。彼の戦術は、モビルスーツ一機と通常兵器だけで、敵を制圧するという独自のものだった。

その後親友とともに問題を起こし、士官学校を退学となる。（その親友は停学で済んだ。）

この事件が原因で親友の性格が一変、彼はこのことを親友を失ったと表現する。（実際はその親友は生きているのだが、もう元に戻ることはないと思っており、彼はこのように表す。）

このことがきっかけで仲間を大切に思うようになる。

ザビ家に関しては、彼らのことが理解できないでいる。（しかし、ジオン・ダイクン派でもない）

彼はジオンはスペースノイドの連邦からの解放の為に戦うと信じており、そのためには多少特殊な立場にいても、能力のある者を重用すべきだと考えている。

故にそういった者たち（ジオン・ダイクン派軍人や外人部隊、犯罪者、地球出身の義勇兵など）とも抵抗なく接し、仲間と認める。

逆にザビ家に近い者であっても、兵を駒として扱う指揮官などには嫌悪感を抱く。

そして前述の戦術論のために、ベテランの戦車兵や戦闘機パイロットなどを次々とモビルスーツパイロットにしていくやり方も、彼には理解できなかった。

残虐な手段を好む訳ではないが、仲間が悪影響がない範囲で効率を優先する。そのため非道な手段を使うことを、あまり躊躇わない。

（仲間が危険な場合は特に。）つまり、仲間のことは第一に考えるが、敵のことはあまり考えない。（とはいえ、仲間を守るために前に出る敵に対しその心意気を認め、情けをかけることがある。）

サイド3ではなく、グラナダの出身。実はとても歌が上手い。声はグン・サード・ライ フォード（ガンダム）が似合うかな。と作者は考えている。

モビルスーツ戦では高速戦闘と接近戦、特に格闘戦を得意とする。

他の軍人とは一線を画す発想で連邦軍を翻弄する。

階級は一年戦争開戦時、軍曹。

4月29日にアリゾナの第128物資集積所で起こった戦闘に敗北、右腕を奪われつつ生還する。

彼が公式に原隊に復帰したのは、5月11日と記録されている。

しかし、この間に第128物資集積所にいた者は全員、戦死者として扱われたために戦死による二階級特進で准尉として扱われた。

5月13日に義手を受領、この先約1ヶ月を治療期間として、キャリフォルニア・ベースで過ごしている。

この後、この間違いは正されること無く、6月9日『対MS戦術・兵器開発実験部隊』に配属される際に少尉に任官された。

主人公の設定（後書き）

後々このページが改編されることは、よくあることですので。
本編が進むにつれてここも広がっていくことではしょ。う。

オリジナルキャラクター（ジオン編）（前書き）

主人公以外のオリジナルキャラです。

リメイクされた一話で登場した奴らと、九話で殺されたオッサンです。

何故かどんどん増えていく。そろそろ歯止めを掛けねば。

オリジナルキャラクター（ジオン編）

アーノルド・シュタイン（男） 24歳

黒眼 黒髪

階級は曹長 愛称はアノー

自己中心的な性格

行動が打算的であり、心理戦に長けたロウは全く相手にしていない。その性格から後に危険が少なく、戦果を確実に挙げれる（彼はそう思っていた）スナイパーとなる。

ロウと幼少の頃からの知り合いらしいが、あまりいい思い出はないとのこと。

実はマハルの出身だが、個人情報不改ざんに成功し、軍ではコア3出身となっている。

声は『ガンダムOO』のエア・ヴァーティ

というより『第08MS小隊』のアス

口癖は「俺はどっちでもいいけど…」

ケイス・デイル（男） 27歳

男にしては、背中にかかるぐらいの長い髪が特徴。

ロウたちをルウム戦役時に率いた小隊長、階級は少尉

まだ若い割に軍人気質で、ロウとアーノルド、二人の面倒をよく見ている。

声は『重力戦線』のレイン・スー軍曹

むしろ『ガンダムOO ファーストシーズン』のヨン・トリティ

口癖は「死ぬな。」

ジヨン・マクファアレン（男）44歳

スキンヘッドに眼鏡、いつもいやらしい笑みを浮かべているのが特徴
『対MS戦術・兵器開発実験部隊』のお飾りの指揮官で、階級は少佐
第八話で初登場

無能で保身しか考えていない。

部下に任せつきりで職務怠慢なところがある。

ロウや他の隊員からもお荷物扱いされ、疎まれていた。

キシリア・ザビを騙して佐官の地位を手に入れた。

第九話で部下を捨て駒にして、自分は逃げようとしたが、その行動
がローエン・ガルフの逆鱗に触れ、逆に捨て駒として扱われて敵を
殲滅する爆弾として使われる。

声のイメージはアグ ッパ・メン ナー（主人公に続き ガンダム）

（ロウは、耳障りな声と表現していた。）

エーリツヒ・フリシユクネヒト（男）21歳 茶髪に黒眼

単なる呑気な整備兵だったが、ロウの口車に乗って復讐鬼にな
ってしまった。

他にも何か秘密があるらしい。

声はカト ・ラバーバ・イナー（ガンダムW）ぐらいじゃないと
合わないかも。

オリジナルキャラクター（連邦軍編）

ハイル・エルフェス 27歳

本作初の連邦軍オリジナルキャラクター

以前はルシアが初と書いていたが、本当はこちらであった。

真面目な性格のようだが、仕事のことを忘れるほどのヘビースモーカー。

きっと彼の機体のサイバルキットには煙草とライターが入っているに違いない。

ビッグ・トレーの滑走路上で喫煙するという愚行を犯したこともあるらしい。

何が原因で囚人兵部隊に入れられたかは不明。

ルシア・リート（女） 19歳 金髪、紅眼

本作初の女性オリジナルキャラクター

代々の軍人家系で育ったため、プライドが高く負けず嫌い。

実力もコネもそれなりにあるため、両方を総動員した結果、陸戦型ガンダム2機という高級装備を手に入れるに至った。

しかし、現場では活躍できておらず、そのことでかなり悩んでいる。口に出すことは自粛しているが、部下であるハイメに想いを寄せている。

彼女には活用できなかった裏設定が結構ある。

所謂1話キャラなのに、設定を造り過ぎたというのが正しいかもしれない。

声は…… 思い浮かばない。これも初めてのことである。

ミューロ・トリエル 19歳

SRT - Unit 2のメンバー、階級は曹長

戦果、訓練の成績、多対1戦闘をもこなすことができる技量など、

連邦軍ではかなり腕の立つパイロット。

若さゆえの暴走と、機体消耗が激しいことが玉に傷。

家庭のことが気に喰わない様子であり、『自分の』家庭を築くために軍隊内で女性を口説いていたりする。

『遊んでいる』と見られがちだが、本人はかなり真剣なのである。

スオン・セード 43歳

SRT - Unit 2の隊長、階級は少佐、ミューロの父親でもある。堅い軍人として見られがちだが、実際は部下のことをしっかりと把握して最適な役割に就かせる優秀な軍人。故によく暴走するミューロやファレルとの相性は悪い。

家庭に悩む男でもある。

妻であった女性との仲は結婚時から最悪で、脅迫に近い形で結婚を迫られた。

故に彼は妻のことを全く愛しておらず、妻の方も彼を金づるとしか見ていない。

ミューロのことは大切に思っていたが、職業軍人の道を選んだ自分にできることなど無いと考え、距離を置いていた。

息子の機体が撃墜された時は激昂し、死に損なった時には悲嘆に暮れていた。

最期はクローディアに射殺されるも、死んだ息子に再会できることを喜んでいた。

(ミューロは死んでいなかったが)

アルフォンス・ハーメル 21歳

SRT - Unit 2のメンバー、階級は曹長

真面目な性格、他にこれといった特徴は無い。

SRT - Unit 2のメンバーに選ばれるからには優秀なパイロット

トだったのだろうが、別段優れた功績は無い。
しかし、突出したファレルやミューロのフォローに廻ることが多く、
隊には欠かせない存在であった。

オリジナルモバイルスーツの設定（前書き）

オリジナルモバイルスーツの設定です。

既存の物を流用した機体が多いのは、そうする他ないからです。

オリジナルモビルスーツの設定

MS06 T2

アグレッション

仮想敵型ザク

新型機のテストや新兵の訓練などで仮想敵として使用されるザク教官が搭乗する可能性もあるため、頭部にブレードアンテナが付いている

古いタイプのザク（A、B型）を改造して造られた機体

基本的にはザク訓練用と同様の改造が施されている

相違点はコクピットユニットのある場所に代わりに、大型・大容量・頑丈な記録メモリが搭載されておりデータ収集機としての性格がよく表れている

他のザクには無い機能として、ペイント弾などの攻撃を受けた際、そこからくるダメージを計算し、自機の一部を再起動まで使用不能にする（実際は稼働するが操作を受け付けない状態）また算出されたダメージにより自機が撃破されたと判断した場合、機能を停止する地上に配備される際にさらに防塵処理を施されるなど、より地上に適した機体にされている

他にはジェネレーター出力の向上（J型並に上がった）やスパイクシールド、スパイクアーマーの装備（JC型に準じるもの）カラーリングの変更（サンドブラウン）などが行われた

武装はダミー・ホークとペイント・ガン（実戦配備される場合はその限りではない）

ダミー・ホークはヒート・ホーク状の武装で刀身は強化ゴムとなっていて、その中にファイバー状のセンサーが配置されており、それが接触した物体との進入角やその物体の材質などの条件から与えるダメージを算出し、データとしてザク経由でデータ収集班に送るといふもの

第十一話で本機と模擬戦を行ったドムも同じ仕様のヒート・サーベ

ルを使用していた

ペイント・ガンはペイント弾を発射するマシンガン

第十一話でローエン・ガルフが搭乗し、ドムの相手役を務めた。

全高 17.5 m

重量 60.3 t

ジエネレーター出力 973 kW

武装

ペイント・ガン

ダミー・ホーク

暇零さんをお願いして、イラストを描いていただきました。 > i 1

8694—305<

本当に素晴らしい出来映えです。暇零さん、本当にありがとうございました！

MS 08TX/SS

イフリート・マインゴージュ

ヘンリー・ブーン大尉の乗るイフリートの運用・戦闘データをもとに8機あったイフリートの1機に改修を加えた機体

連邦軍のピクシーとの戦闘データとその戦闘スタイル、ノウハウをも吸収し、さらなる格闘戦能力の強化を目指した

ビームサーベルで二刀流にして、格闘戦特化型の機体にしようとしたが出力不足により計画変更を余儀なくされる

変更後の計画は連邦の白い奴ガンダムに影響され過ぎた

ガンダムがビーム兵器主体の装備だったため、その対策として生み出された機体

ピクシーから得たデータでビームステルスコートを採用

さらにビームダガーもビームサーベルに対抗するために設計変更

大型のガードがビームによって形成され、十手のような使い方がで

きるようになる

連邦軍モビルスーツの標準装備となっていたビームサーベルに対して優位に立つことができた他、超至近距離での戦闘や刺すという攻撃方法に関してはこちらの方が良かった

他にビーム兵器無効化技術としてMBシステム(Minovsky Brake)の略 ミノフスキー粒子の性質を破壊するもの)という特殊兵装を装備する

これはビーム攪乱膜と共にミノフスキー粒子と反応しやすい物質を展開しメガ粒子の発生を防ぎ、一時的にビームを発生できなくするというもの

しかし有効範囲、時間ともかなり限られたものになっている(理論値で有効半径50m、有効時間10秒)

その上、費用対効果が非常に悪く開発が中止されたため完全ではない上に、一度しか使えない(1回分しか作られてない)

それでも一応、これが発動した状態を想定して、ヒートソードも装備そして格闘戦では脚部も武器として使われる事が少なくなかった。脚部の可動範囲を広げるために、腿部の装甲を内側からの衝撃で外れるように設計し、その上で爪先にスパイクを装備した

そして敵機に接近する際に、敵の銃撃をかわすために機動性の強化を行うべく脚部にバーニアが増設されている

イフリートシリーズ特有の二刀流は一本は長刀、一本は短刀という変わった形で踏襲している

マインゴーシュとは主にヨーロッパで用いられた防御用の短剣のこと、ちなみに型式番号のSSはshort swordを意味する

全高 17,8m

重量 56,4t

ジェネレーター出力 1110kw

武装

頭部バルカンx2(改修前からの武装)

ヒートソード（背中に斜め向きにマウント）

ビームサーベル×2（腰部に装備、通常は1本しか使わない）

MBシステム（下腕部に装備）

他手持ち武装（ザク・マシンガン、ジャイアント・バズなど）

イフリート・ナハト用狙撃ユニット

イフリート・ナハトのジャミングシステムを有効活用すべく、発案されたプラン。

狙撃手は、敵に発見されない事を必要とするため、レーダーに映らないイフリート・ナハトとの相性は抜群だった。

本来、イフリート系モビルスーツ用の装備だが、かなり汎用性が高く造られていたらしく、ザクやグフにも装備可能だった。

（グフに装備する意味は薄いと思われるが）

狙撃用高倍率カメラを左肩に装備し、右肩にはレーダードームを装備する。

（レーダーは使用されないことも多い。レーダー波が逆探知され、居場所を特定されるため。）

狙撃用ライフルには、135mm対艦ライフルを消音改造した物を使用、多くの狙撃型モビルスーツとは違い実弾式である。

アーノルドはこれをビームライフルと使い分けることで、見事に八イメのGMを狙撃した。

追加武装

狙撃用ライフル

RGM 79「G」

陸戦型GM 狙撃仕様

陸戦型GMにビームスナイパーライフルを装備した機体

にも関わらず、カラーリングがサンドブラウンを基調とした陸戦型

GM本来のカラーリングのままなので、GMスナイパーとも微妙に違う。

100mmマシンガンや打突用シールドも装備しているため、狙撃時以外は陸戦型GMとしての運用が可能。

第十四話でハイメ・カルモナが搭乗し、狙撃戦を繰り広げ、その末に撃破されている。

全高 18,0m

重量 53,8t

ジェネレーター出力 1150kw

武装

100mmマシンガン

打突用シールド

ビームスナイパーライフル

ビームサーベル×2

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7678h/>

機動戦士ガンダム ZEON'S SOLDIER オリジナル設定

2011年10月5日19時55分発行